

令和2年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 3

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

〈体 育〉 ○ 体力の向上と健康安全に向けて行動する子どもの育成

評価項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
体 育	1 体力向上の推進	○コロナ感染対策により実施できない行事があったが、実施方法を工夫しながら取り組める範囲で実施できた。 ○来年度も状況を見ながらの取組になることを想定していく。各学級での取組の強化を図るようにする。	2	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからも昼休みは外で活動するようにしてほしい。 ・ 引き続き体力向上に努めてほしい。自宅ではゲーム等で過ごす時間が多くなってきていると思われる。 ・ 部活動、クラブ活動をしている子としていない子の体力に大きな差があるように思う。 ・ コロナ感染対策で実施できなかった行事が多く、来年度はできるとよい。 ・ 来年度の運動会は午後もやってほしい。
	2 立腰指導と正しい鉛筆の握り、箸使いの徹底	○始業、終業時の立腰は意識が高い。継続して取り組みたい。	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観日でも立腰がしっかりできている。 ・ 担任の先生は鉛筆の握り方を熱心に指導している。 ・ 鉛筆の握り方と箸使いは同様である。日本人なので箸使いをしっかり定着させることで、鉛筆も正しく持てると思う。
	3 保健・衛生的な生活習慣の定着	○コロナ感染予防の「けんこうチェック」で朝ご飯摂取の有無が確認できた。 ○う歯の治療率がここ数年では高い治療率となった。	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ご飯の習慣は大切である。 ・ 朝ご飯の摂取をP T Aに協力をもらいながら取り組んでほしい。
	4 「自分の命は自分で守る」意識の醸成	○児童の避難の様子から防災意識の高まりが見られた。	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の防災意識が高まり、指導が徹底している。 ・ 有事の際の認識をうえつけていくことが大切である。 ・ 台風時の避難場所の指導を行ってほしい。